

資料Ⅰ 地域公共交通計画の概要

Ⅰ. Ⅰ 計画の背景と目的

町田市では、これまで「町田市都市づくりのマスタープラン」に基づき、鉄道や路線バスをはじめとする公共交通を、市民生活や都市活動を支える重要な基盤として位置付け、その維持・充実および利便性向上に向けた取組を進めてきました。あわせて、公共交通を軸とした移動環境の整備により、日常生活の利便性向上や都市機能の維持・強化を図るとともに、持続可能な都市構造の形成に向けた施策を推進してきました。

一方で、近年は全国的に公共交通を取り巻く環境が大きく変化しており、人口減少や利用者の減少、さらには運転士不足などを背景として、公共交通の維持・確保が困難となる状況が顕在化しています。このような状況を踏まえ、国は２０２０年に「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」を改正し、地域にとって望ましい公共交通の将来像を示すマスタープランとして「地域公共交通計画」の策定を自治体の努力義務としました。これにより、自治体を中心となり、交通事業者や地域住民など多様な関係者と連携しながら、地域の実情に応じた持続可能な交通体系の構築を図ることが求められています。

また、国は、都市機能や居住を一定の区域に集約し、それらを公共交通ネットワークで結ぶ「コンパクト・プラス・ネットワーク」の実現を推進しており、そのためには、立地適正化計画と地域公共交通計画を一体的に策定し、相互に連携させることが重要とされています。町田市においても、２０２２年３月に「町田市都市づくりのマスタープラン」を策定し、さらに２０２６年３月には、持続可能な都市構造の形成に向けて、居住誘導区域や都市機能誘導区域等を示す「町田市立地適正化計画」を策定しました。

このような背景のもと、町田市においては、高齢化の進展に伴い移動に配慮を要する市民が増加しているほか、郊外部を中心に日常生活に必要な移動手段の確保が課題となっています。今後も安心して暮らし続けられるまちを実現するためには、公共交通の役割は一層重要となります。

町田市地域公共交通計画（以下、本計画）は、これらの社会情勢や法改正の趣旨、並びに「町田市都市づくりのマスタープラン」及び「町田市立地適正化計画」との整合を図りながら、将来にわたって安心して利用できる持続可能な交通環境の実現を目的として策定するものです。具体的には、交通の将来像や目標を明確にするとともに、市内の交通課題の解決に向けた具体的な施策、評価指標及び推進体制を定め、市民・交通事業者・行政が連携・協働して取組を推進していくための指針とします。

1. 2 計画体系

本計画は、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」第5条に基づく「地域公共交通計画」として策定します。

「まちだ未来づくりビジョン2040」及び「町田市都市づくりのマスタープラン」を市の上位計画とし、その他、国の関係法令（交通政策基本法・地域公共交通の活性化及び再生に関する法律）や計画（第2次交通政策基本計画）、都の計画（東京における地域公共交通の基本方針）、市の関連計画との整合を図ります。

計画区域は「町田市全域」とし、計画期間は2027年度から2031年度の5年間とします。

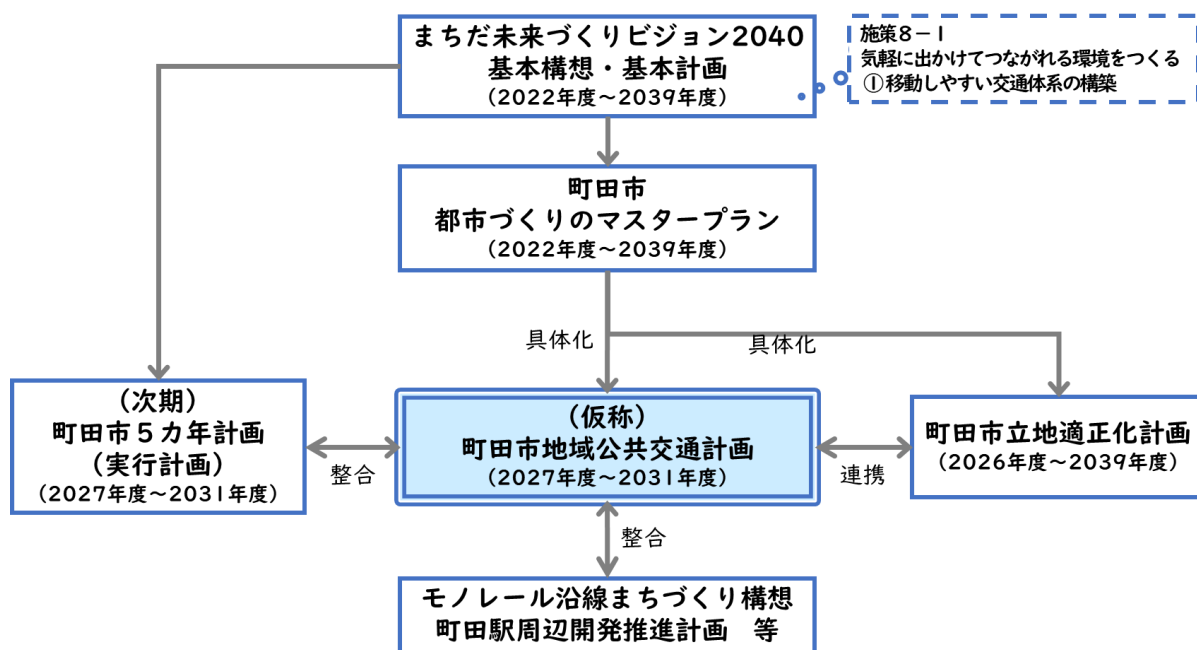


図 1-1 町田市地域公共交通計画の計画体系図

1. 3 上位・関連計画

(1) 町田市都市づくりのマスタープラン【2022年3月策定】

町田市は、2022年3月に「町田市都市づくりのマスタープラン」を策定し、これまでの「都市計画マスタープラン」「交通マスタープラン」「緑の基本計画」「住宅マスタープラン」を統合したうえで、2040年を見据えた都市づくりの基本方針を示しました。

「町田市都市づくりのマスタープラン」では、将来ビジョンの実現に向けた方針編（計画期間：～2031年度）を位置付けており、その中で「交通」分野に関する基本方針「『日常的な移動を多様な担い手・手段で支え、移動しやすい持続可能な交通環境をつくること』を目指す」や取組の考え方を整理しました。

さらに、交通分野では、3つの施策を掲げ、これらを通じて市内の持続可能な交通環境の実現を目指す内容としました。

町田市における今後の交通政策の方向性を示す重要な指針として、これらの施策により、公共交通を中心とした移動環境の形成や利便性向上、都市機能との連携強化などを図ります。

基本 方針

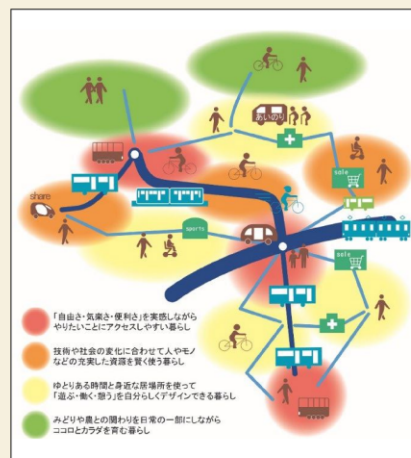
『日常的な移動を多様な担い手・手段で支え、
移動しやすい持続可能な交通環境をつくること』を目指す

方針編（交通）の役割

町田市交通マスタープラン（2006）、町田市便利なバス計画（2014）の要素を取り入れ、市民、交通事業者、関係機関等とともに作りだしていく交通体系や交通基盤の使い方など、交通やモビリティ（“移動しやすさ”）に関する基本方針を示す

ビジョンの実現に向けた交通分野の取組の基本的な考え方

- さまざまな移動の手段や環境を生み育て、目的地まで気軽に好きな方法で行ける交通体系をつくる
- 多様な担い手で交通を支え、今ある資源をフル活用して日常の移動をつくる
- さまざまな交流が生まれる交通拠点や、道路空間の多様な活用など、交通基盤の役割・使い方を変えていく



施策Ⅰ

地域の中を快適に移動できる
「小さな・ゆったりした」交通
を生み育てる

施策Ⅱ

市内と市外、拠点間をつなぐ
「大きな・速い」交通
を整える

施策Ⅲ

多様な担い手がつながり、
さまざまな手段を用いて
交通を支える

図 1-2 施策の全体像

出典：町田市都市づくりのマスタープラン概要版 P18（2022年3月）

施策	取組の方向性	主な取組
施策Ⅰ 地域の中を 快適に移動できる 「小さな・ ゆったりとした」 交通を生み育てる	取組の方向性① 地域の中を快適に 移動できるさまざまな 手段や環境を生み育てる	①自宅や目的地とのラスト・ファーストワンマイルの“移動しやすさ”の向上 ②居心地が良く出歩きたくなる道路等の環境の創出 ③ハード・ソフト両面での自転車活用の推進
	取組の方向性② 地域にある輸送資源を 活用して、移動しやすく する仕組みを生み育てる	①地域の支え合いによる移動の取組の支援 ②地域にある輸送資源（送迎車両等）の活用支援 ③地域や利用者の特性に応じたコミュニティバス等の運行
施策Ⅱ 市内と市外、 拠点間をつなぐ 「大きな・速い」 交通を整える	取組の方向性① 速達性・定時性を備えた 輸送力のある交通の 基盤を整える	①多摩都市モノレール町田方面延伸・小田急多摩線延伸の促進 ②鉄軌道延伸に合わせたバス路線網の再編 ③円滑な移動を実現する道路等の交通ネットワークの向上
	取組の方向性② 多様な交通モードをつなぐ 交通の拠点を整える	①鉄道駅の交通結節機能の向上 ②主要なモノレール駅（想定）を中心とした地域交通拠点の整備
施策Ⅲ 多様な担い手が つながり、 さまざまな手段を 用いて交通を 支える	取組の方向性① 安全・安心に利用できる 交通環境を整える	①高齢者や障がい者でも安全・安心に移動できるバリアフリー化の推進 ②交通事故減少を目指した交通安全意識の普及・啓発
	取組の方向性② 持続可能な地域交通を 支える意識を育む	①一人ひとりの移動を望ましい方向に変えていくモビリティ・マネジメントの推進 ②環境負荷の低い乗り物への転換の推進
	取組の方向性③ 先端技術やデータを 積極的に活用する	①先端技術（自動運転・MaaSなど）やデータを活用した実証実験の支援 ②交通に関する先端技術やサービスの使い方の啓発（デジタルサポート等）

図 1-3 3つの施策と取組の方向性

出典：町田市都市づくりのマスタープラン概要版 P19（2022 年 3 月）

(2) 町田市立地適正化計画【2026年3月策定】

町田市は、「町田市立地適正化計画」を「町田市都市づくりのマスタープラン」の一部として策定し、「都市計画」分野における「コンテンツ編」に位置付けています。この計画では、まちづくりの方針の一つとして、「多摩都市モノレール町田方面延伸に伴う交通ネットワークの再編」を掲げています。

また、「町田市立地適正化計画」では、地域ごとの特性に応じた多様な土地利用の誘導を図ることとしており、特に「再開発の機運が高まっている町田駅周辺」、「再生に向けた取組が進む大規模団地」、および「延伸への期待が高まっている多摩都市モノレール沿線」については、今後のまちづくりを推進する上で重要なエリアとして位置付け、都市機能誘導を図ることにしました。

さらに、これらの取組と連動し、公共交通ネットワークの効率化が重要であるとし、拠点間を結ぶ交通の強化や、地域の実情に応じた交通手段の導入を進めることで、持続可能な交通体系構築に向けた方向性を示しました。

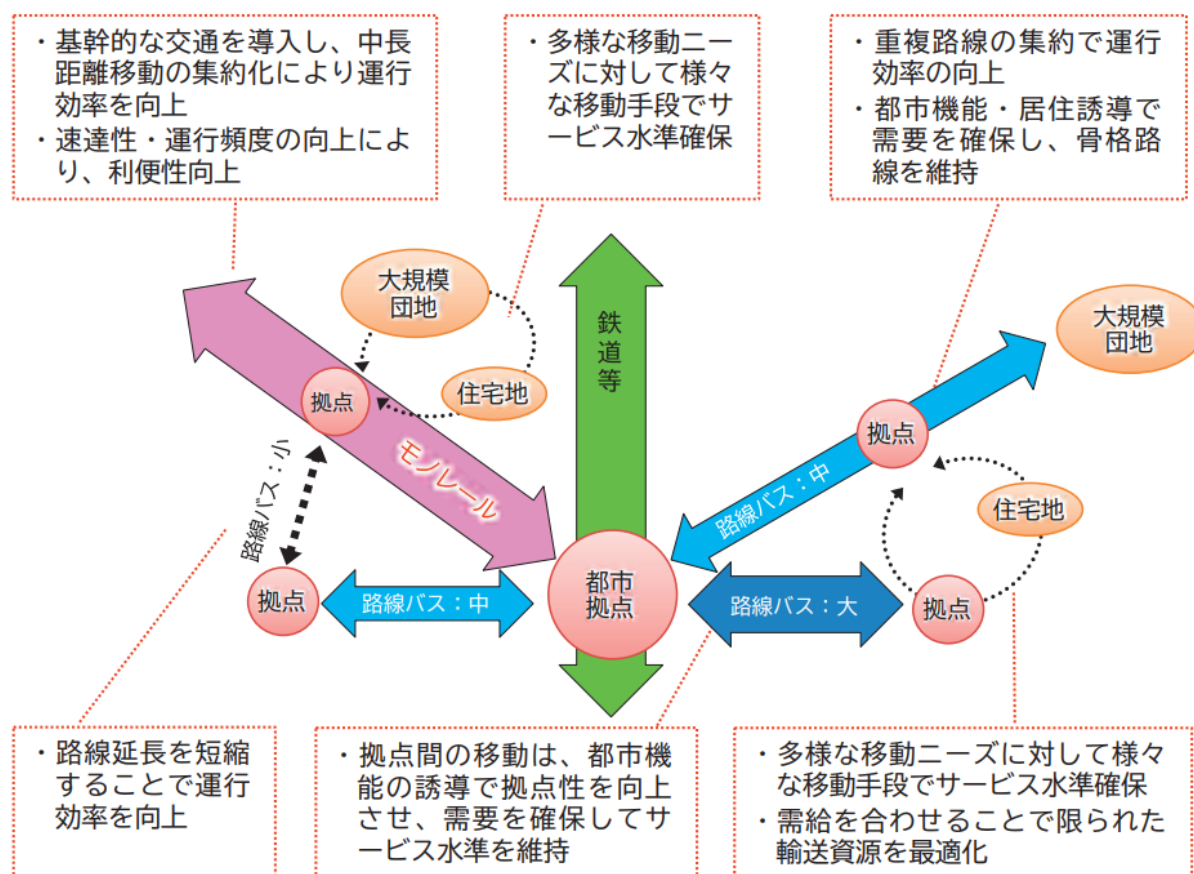


図1-4 公共交通ネットワークの効率化のイメージ

出典：町田市立地適正化計画 P40（2026年3月）

(3) その他町田市の交通に関する計画

町田市における交通ネットワークの強化や都市機能の向上と密接に関係し、今後の地域公共交通のあり方や都市構造の形成に大きな影響を与えるものとして、以下のような計画を位置付けています。

■「多摩都市モノレール町田方面延伸」についての計画

２０２１年１２月に延伸ルートが選定されました。その後、２０２４年３月には町田市と多摩市の両市による構想として「モノレール沿線まちづくり構想」を策定し、現在は東京都をはじめとする関係機関と連携しながら、事業の具体化に向けた協議を進めており、早期の実現を目指しています。

■「町田駅周辺開発」についての計画

近年の開発機運の高まりや、多摩都市モノレール町田方面延伸、新たな拠点形成といった背景を踏まえ、２０２４年６月に「町田駅周辺開発推進計画」を策定しました。「町田駅周辺開発推進計画」では、駅周辺における回遊性のさらなる向上を図るとともに、その効果を中心市街地全体へと波及させることで、にぎわいと魅力のあるまちづくりの実現を目指しています。

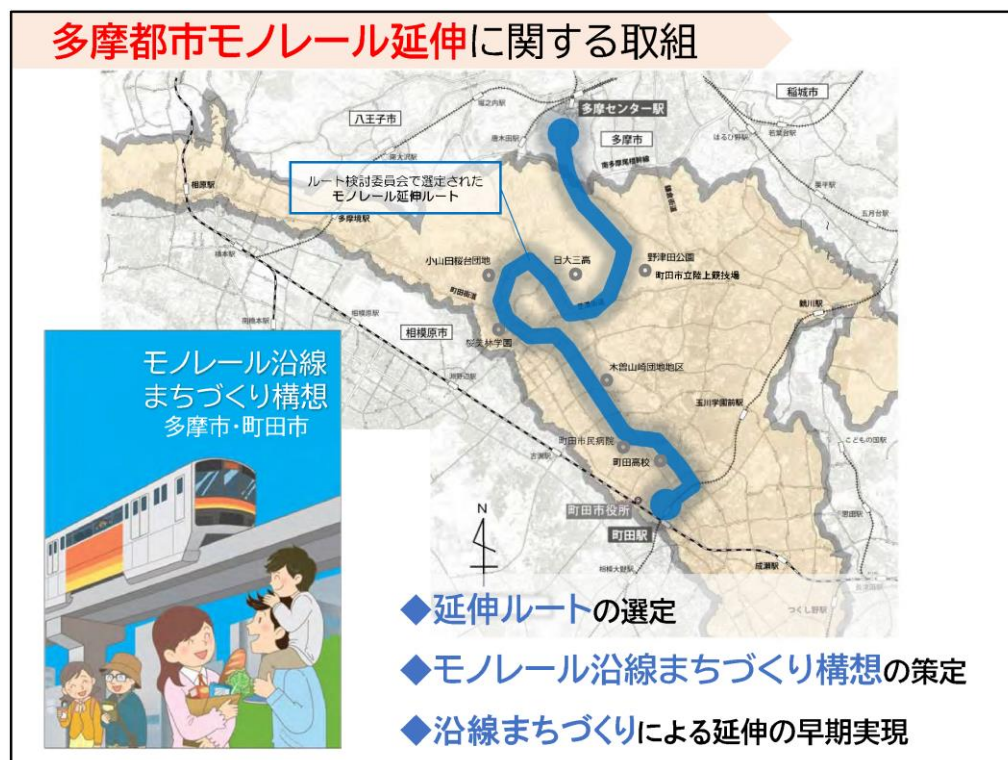


図 1-5 多摩都市モノレール延伸に関する取組概要

出典：町田市立地適正化計画の策定に向けた地域説明会（中間取りまとめ）P10（2024 年 12 月）